光反射シートとUV-Bで
イチゴうどんこ病抑制効果アップ

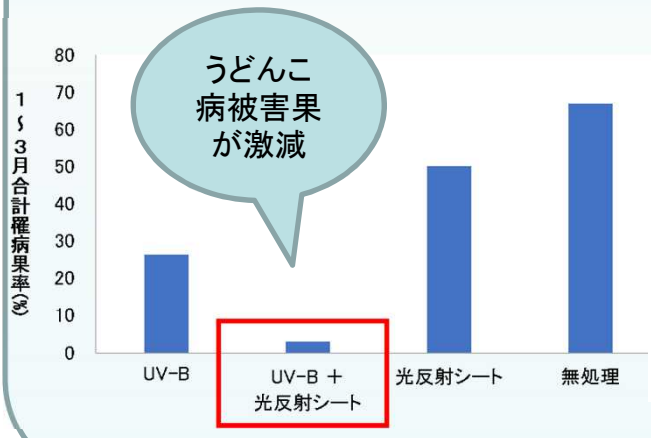
【背景・目的・成果】
　イチゴ栽培で問題となるうどんこ病に対して兵庫県が開発したUV-Bランプの普及が進んでいます。近年、光反射シートとランプを併用する新方式が開発され、葉裏に照射することでハダニ類を抑制できることが明らかになりました。 今回の研究で、この新方式はランプ単独に比べてうどんこ病を大きく抑制することを明らかにしました。※この研究は内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「次世代農林水産業創造技術」の支援を受けました。

UV-B照射と光反射シートの併用イメージと設置状況

UV-B照射と光反射シートの併用イメージと設置状況

成果

UV-B照射と光反射シートを組み合わせると、UV-B単独照射（従来技術）の時よりも、うどんこ病の抑制効果が大幅にアップ!



うどんこ病被害果の抑制効果

各試験区のうどんこ病罹病果

【技術の活用】
　うどんこ病の発生前に予防的に照射を始めると効果が高い。また、光反射シートは地温の上昇を抑制することがあるので被覆部分を制限するなど設置方法に留意する。

兵庫県
Hyogo Prefecture
兵庫県立農林水産技術総合センター
農業技術センター

研究成果紹介
動画サイト